

上諭案

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ軍事  
公債條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公  
布セシム

御名 御璽

明治廿七年八月五日

内閣總理大臣  
各 大 臣

局甲五三

明治廿七年十月三十日

内閣書記官

為

内閣總理大臣 伊藤

内閣書記官長

外務大臣	陸軍大臣	司法大臣	農商務大臣
大藏大臣	海軍大臣	文部大臣	逓信大臣
若	五	五	

明治二十七年勅令第四百四号

右憲法第七十條第二項ニ依リ承諾ヲ  
承ケル為メ帝國議府ニ提出相成然ルニ

二

議院、提出案

明治二十七年勅令第四百四十四号

右憲法第七十條第二項ニ依リ承諾ヲ  
求メテ為

勅旨ヲ奉リテ帝國議院ニ提出ス

明治二十七年十月二十日

内閣総理大臣

大臣 臣

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ軍事公儀條  
例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十七年八月十日

内閣總理大臣伊藤博文  
逓信大臣伊藤博文  
陸軍大臣伊藤博文  
海軍大臣伊藤博文  
司法大臣伊藤博文  
農商務大臣伊藤博文  
文部大臣伊藤博文  
學務大臣伊藤博文  
勸業大臣伊藤博文  
陸軍大臣伊藤博文  
海軍大臣伊藤博文  
司法大臣伊藤博文  
農商務大臣伊藤博文  
文部大臣伊藤博文  
學務大臣伊藤博文  
勸業大臣伊藤博文

万務大臣	陸奥宗光
大藏大臣	源通西武
文部大臣	井上毅
司法大臣	若川路正

商會第百四十四号

軍事公債條例

第一條 軍事公債、額金百四十万

ニ依リ全額五千万圓ヲ限リ漸次發行

集めんモノトス

第二條 此ノ公債ノ利子ハ一箇年百分六以

下トシ元金償還ニ至ルヲテ毎年六月及十二月

ノ兩度之ヲ支付ス

第三條 此ノ公債ノ元金ハ陸軍省發行ノ年日

ヲ五箇年毎置其ノ翌年より向五十箇年

以內ニ修還ス

第四條 此ノ公債ヲ募集スルニ付テ其ノ総額、  
價格、利子割合、應募申込日限、應募金  
掛込ノ枚數其ノ他必要ナル事項ハ大藏大臣  
之ヲ定ム

第五條 此ノ公債証券ノ交付元利仕拂ニ関スル  
時效證書ノ取扱其ノ他此ノ條例ヲ以テ規  
定セラルル事項ハ從テ明治十九年勅令第六十六  
号ノ規程ニ依テ修還ニ據ル

明治二十七年勅令第百四十四号ヲ提出スル  
ノ理由書

臨時軍事増進基金ノ為メ公債募集ノ必  
要ヲ生じし是レ本年勅令第百四十四号ヲ  
公布セラレタレ所以ナリトス



明治二十七年勅令第百四十四號帝國  
憲法第七十條第二項ニ依リ承諾ヲ求  
ムル為ノ帝國議會ニ提出ノ件

右謹ク裁可ク仰ク

明治二十七年十月二十日

内閣總理大臣伯爵伊藤博文

明治二十七年勅令第四百四十四號

右憲法第七十條第二項ニ依リ承諾ヲ求ムル爲

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治二十七年十月二十日

内閣總理大臣 伯爵伊藤博文

遞信大臣 伯爵黑田清隆

陸軍大臣兼 伯爵西郷從道

農商務大臣 子爵榎本武揚

外務大臣 子爵陸奥宗光  
大藏大臣 渡邊國武  
司法大臣 芳川顯正  
文部大臣 侯爵西園寺公望  
内務大臣 子爵野村靖

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ軍事公債條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布ゼシム

御名 御璽

明治二十七年八月十五日

内閣總理大臣 伯爵伊藤博文  
逓信大臣 伯爵黒田清隆  
海軍大臣 伯爵西郷從道  
内務大臣 伯爵井上馨  
陸軍大臣 伯爵大山巖  
農商務大臣 子爵榎本武揚



外務大臣	陸奥宗光
大藏大臣	渡邊國武
文部大臣	井上毅
司法大臣	芳川顯正

勅令第四百四十四號

軍事公債條例

第一條 軍事公債ハ勅令第四百四十三號ニ依リ金額五千萬圓ヲ限リ漸

次募集スルモノトス

第二條 此ノ公債ノ利子ハ一箇年百分ノ六以下トシ元金償還ニ至ル

マテ毎年六月及十二月ノ兩度ニ之ヲ支拂フ

第三條 此ノ公債ノ元金ハ證書發行ノ年ヨリ五箇年据置其ノ翌年ヨ

リ向五十箇年以内ニ償還ス

第四條 此ノ公債ヲ募集スルニ付キ其ノ總額、價格、利子歩合、應募申

込日限、應募金拂込度數其ノ他必要ナル事項ハ大藏大臣之ヲ定ム

第五條 此ノ公債證書ノ交付元利仕拂ニ關スル時効證書ノ取扱其ノ

他此ノ條例ヲ以テ規定セサル事項ハ總テ明治十九年勅令第六十六

號整理公債條例ニ據ル

明治二十七年勅令第四百十四號ヲ提出スルノ理由書

臨時軍事費支辨ノ爲メ公債募集ノ必要ヲ生セリ是レ本年勅令第四百十四號ヲ公布セラレタル所以ナリトス

明治二十七年勅令第四百四號

右領收候也

明治二十七年十月二十日

衆議院議長楠本正隆



内閣總理大臣伯爵伊藤博文殿

衆議院書記官長水野道



貴族院ハ兩院ノ承諾ヲ經タル明  
治二十七年勅令第百四十四號  
ノ件ヲ奏上ス

明治二十七年十月二十一日

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶



朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ軍事公債條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十七年八月十五日

内閣總理大臣 伯爵伊藤博文

逓信大臣 伯爵黒田清隆

海軍大臣 伯爵西郷從道

内務大臣 伯爵井上馨

陸軍大臣 伯爵大山巖

農商務大臣 子爵榎本武揚

一

外務大臣	陸奥宗光
大藏大臣	渡邊國武
文部大臣	井上毅
司法大臣	芳川顯正

勅令第四百四十四號

軍事公債條例

第一條 軍事公債ハ勅令第四百四十三號ニ依リ金額五千萬圓ヲ限リ漸

次募集スルモノトス

第二條 此ノ公債ノ利子ハ一箇年百分ノ六以下トシ元金償還ニ至ル

マテ毎年六月及十二月ノ兩度ニ之ヲ支拂フ

第三條 此ノ公債ノ元金ハ證書發行ノ年ヨリ五箇年据置其ノ翌年ヨ

リ向五十箇年以内ニ償還ス

第四條 此ノ公債ヲ募集スルニ付キ其ノ總額、價格、利子歩合、應募申

込日限應募金拂込度數其ノ他必要ナル事項ハ大藏大臣之ヲ定ム

第五條 此ノ公債證書ノ交付元利仕拂ニ關スル時効證書ノ取扱其ノ

他此ノ條例ヲ以テ規定セサル事項ハ總テ明治十九年勅令第六十六

號整理公債條例ニ據ル

明治二十七年勅令第四百十四號ヲ提出スルノ理由書

臨時軍事費支辨ノ爲メ公債募集ノ必要ヲ生セリ是レ本年勅令第四百十四號ヲ公布セラレタル所以ナリトス

明治二十七年勅令第百四十四號

御

右衆議院ノ議決ヲ經タル政府案本院ニ  
於テ承諾スルコトヲ議決セリ依テ議院法  
第三十一條ニ依リ御執奏相成度此段  
申進候也

明治二十七年十月廿一日

貴族院議長侯爵貞原誠毅



貴族院議長

十四號ニ依テ公債ノ發行ハ其ノ旨ニ依リテ  
國庫事務官ノ爲メ公債ノ發行ハ其ノ旨ニ依リテ  
明治二十七年勅令第百四十四號ニ對シテ  
附出スル



内閣總理大臣伯爵伊藤博文殿

書  
於

陽



兩院ノ承諾ヲ經タル明治二十七年勅令  
第百四十四號ニ關スル貴族院議長

奏上書

右謹テ奏ス

明治二十七年十月二十一日

内閣總理大臣伯爵伊藤博文

財政  
部